

# 第7回臨床教科教育学セミナー2008のご案内

- 1 主催 臨床教科教育学会
- 2 後援(予定) 文部科学省、長野県教育委員会、新潟県教育委員会、群馬県教育委員会、長野市教育委員会、信濃教育会
- 3 期日 平成20年12月13日(土)
- 4 会場 信州大学教育学部(〒380-8544 長野市大字西長野6-口)  
図書館2階視聴覚室、北校舎N101室、N201室、N301室
- 5 日程(予定)

8時20分~	8時45分	受付
8時50分~	9時00分	開会行事
9時00分~11時00分	課題研究(実行委員会企画) 「学び合うコミュニティはいかにして作られたか(仮題)」	
11時20分~12時20分	自由研究発表	
12時20分~13時30分	昼食、休憩	
13時30分~16時30分	自由研究発表	
16時40分~16時50分	閉会式	
16時50分~17時00分	総会	
17時30分~19時30分	懇親会(教育学部生協食堂)	

## 6 発表申し込み

(1) 研究発表は、自由研究および課題研究とします。

発表者は、原則的に会員となります。会員については、本年度までの学会費を大会当日までに納入していることが要件です。新たに学会に入会し発表される方は、発表申し込みと並行して次の臨床教科教育学会事務局に入会手続きをお取り下さい。

本学会ホームページ(<http://www.rinkykyo.com/>)上にある“入会手続き”に、入会手続きの詳細を記載しています。

### (2) 課題研究発表

本年度は、セミナー実行委員会企画とします。

### (3) 自由研究発表 及び 発表予稿集の原稿送付方法

発表を希望される方は、発表の申し込みと同時に発表予稿集の原稿も送付してください。申し込みの書式は自由ですが以下の事項をお書きください。発表予稿集の原稿の形式は「13 発表予稿集の原稿の形式」をご参照ください。11月19日(水)必着にて電子メールでご連絡ください。

「発表者氏名」

「発表題目」

「発表者所属」

「発表者連絡住所」

「発表者連絡先電話番号」

「発表者連絡電子メール」

「懇親会参加の有無」

「発表原稿」は添付してください。(ワードまたは一太郎)

当日は発表15分、質疑3分で行います。

発表申し込み・発表予稿集の原稿送付先 電子メール: rinky\_sinsyu@yahoo.co.jp

## 7 参加申し込み方法

参加を希望される方は、12月5日(金)までに郵送または電子メールのいずれかの方法でご連絡ください。書式は自由ですが、以下の事項をお書きください。(当日受付も可能ですが、人数把握のため、できるだけ、〆切日までに申し込んでください。)

- 「参加者氏名」
- 「参加者所属」
- 「参加者連絡住所」
- 「参加者連絡先電話番号」
- 「参加者連絡電子メール」
- 「懇親会参加の有無」
- 「臨床教科教育学会員所属の有無」

参加申し込み 電子メール: rinkyo\_sinsyu@yahoo.co.jp

住所: 〒380-8544 長野市大字西長野6-口 信州大学教育学部 三崎研究室気付  
第7回臨床教科教育学セミナー2008実行委員会 宛

## 8 参加費

学会員: 1,000円、非学会員(大学院生): 2,000円、懇親会費: 3,000円です。

ただし、大学生は無料(資料なし)です。資料を希望される場合は資料代1,000円です。全て、当日の受付にて参加費、懇親会費を集めさせていただきます。

## 9 派遣申請

派遣申請書をお求めの方は、「派遣者氏名」、「宛先」を明記の上、セミナー2008実行委員会まで電子メールか郵送のいずれかにてご連絡ください。なお、こちらで旅費等の負担はできません。

## 10 問い合わせ先

臨床教科教育学セミナー2008実行委員会 電子メール: rinkyo\_sinsyu@yahoo.co.jp

詳細が決定し次第、最新情報をホームページ上に掲載いたします。

<http://www.rinkyokyo.com/>

## 11 交通・宿泊案内

### (1) 交通案内

徒歩ですと、JR長野駅善光寺口から約25分(緩やかな登り)です。

自家用車ですと、上信越自動車道の「須坂長野東」インターチェンジから約30分、「長野」インターチェンジから約20分です。(本学部には約80台の無料駐車場があります)

バスをご利用の場合

- ・JR長野駅善光寺口バス停1番乗り場から、川中島バス「善光寺経由宇木行」、「善光寺・西条経由若槻東条行」、「善光寺・若槻団地経由若槻東条行」のいずれかに乗車(10分)し、「大門南」下車、徒歩5分です。
- ・JR長野駅善光寺口バス停4番乗り場から、長野市循環バス「ぐるりん号」に乗車(10分)し、「信大教育学部前」下車、徒歩1分です。

### (2) 宿泊案内

JR長野駅周辺に複数のホテルがあります。セミナー2008実行委員会では斡旋をしておりませんので、各自でご予約をお願いいたします。

## 12 セミナー2008実行委員会

〒380-8544 長野市大字西長野6-口 信州大学教育学部 三崎研究室気付

臨床教科教育学会第7回臨床教科教育学セミナー2008実行委員会事務局  
実行委員長: 三崎隆

## 13 発表予稿集の原稿の形式

(原稿例)

### 条件の提示による 時の 概念の意識変容に関する研究

臨 床介(大学大学院)  
投稿 例子(大学)  
(rinkyokyo@rinkyokyo.com)

#### 要約

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における意の識を明らかにすることである。第2は、既習前に条件(的を生じさせる条件)の提示による効果、効果(度と的影響)を意識変容から検討することである。第3は、既習前に条件を提示することが、として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

キーワード：学び合い、人間関係、意識変容

#### 問題の所在

最近の教育では、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に問題解決できる能力が求められている。特に後者の点については、学習者にがおかれると的がされる授業を構築しなければならない。現在まで、的が生じることにより的がなされ、効果につながる例が多く報告されている。  
・(1994)は、概念を通して提示における概念変容の研究を行った1)。それによると、事象をうまくできないときに的が生じ、そのため概念変容が起こると捉えている。つまり、概念である。

#### 研究目的

本研究では、を解明することを目的とする。

#### 研究方法

#### 注意事項

1. 原稿はA4版2枚とする。
2. タイトルはゴシック体14pt太字で、中央寄せにする。
3. 研究者名(所属校名)は明朝体12ptで右寄せにする。共同研究者、連絡先のアドレスについても同じ。
4. 要約は簡潔にまとめ、1行開けてキーワードを5語以内とする。1行開けて見出しを

書き始める。

5. 見出しがゴシック体10.5pt太字で、前文との間を1行開ける。
6. 本文は2段組、文字数22字、行数43行とし、明朝体10.5ptで仕上げる。
7. 余白は上下25mm、左右20mmとする。
8. 各引用箇所には、1), 2), 3)の順に右上付けて、番号を入れる。

#### 引用文献

- 1) . . :「提示における生徒の概念の変容 - を事例とした概念について -」, 学会研究紀要, Vol. , 1994.

#### 注意事項

- 著者名:「論文名」, 雑誌名, 卷, 頁, 発行機関または発行所, 発行年.  
著者名:「単行本」, 頁, 発行所, 発行年.